

上関地点 2023年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	10月 5日 11月13日 12月11日 1月11日 2月 8日 3月 4日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.1~7.5	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	6mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月27日 3月12、26日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真 1
海生生物	潮間帯生物	10月11~13日	植物ではクロメ、イワノカワ科など33種、動物ではアマガイ、カメノテなど41種を確認した。			写真 2
	海藻草類		ノギリモク、サビ亜科など27種を確認した。			
	底生生物		ムラサキウニ、アカウニなど6種を確認した。			
海生生物	スナメリ	10月、3月 (週1回・計8日)	確認回数は計7回、延べ15頭を確認した。			写真 3
	カクメイ科等の貝類	11月13~15日 2月7、8日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※1 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所調査を実施した。			-

※1 タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カムリウミスズメ(写真4)
1月に延べ4個体(祝島の東)、2月に延べ14個体(宇和島の東[6個体])、(叶島の西[2個体])、(祝島の北[4個体])、(鼻線島の北西[2個体])を確認した。
- カラスバト(写真5)
計画地点において、10月に鳴き声を確認した。
鼻線島においては、10、11、12、2、3月に姿および鳴き声を確認した。
- ミサゴ(写真6、7、8)
鼻線島において、3月に親鳥(雄、雌)による抱卵を確認した。
天田島においても、3月に親鳥(雄、雌)による抱卵を確認した。
小島では、2月に親鳥を確認したが、3月は営巣地の崖が崩落し、巣および個体は確認できなかった。
- クロサギ(写真9)
鼻線島において、3月に既知営巣地周辺の岩場等で1羽を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



3月12日 親鳥(雌)



3月12日 親鳥(雄)

写真2:海生生物(10月11~13日)



クロメ



カメノテ



ノギリモク



ムラサキウニ

写真3:スナメリ



3月27日

写真4:カンムリウミスズメ



2月6日(鼻線島北西)

写真5:カラスバト



10月19日(鼻線島)

写真6:ミサゴ(鼻線島:3月12日)



写真7:ミサゴ(天田島:3月12日)



写真8:ミサゴ(小島:3月12日)



写真9:クロサギ



3月26日(鼻線島)